



みんなで行うパトロール

「安心して住める街づくり」を目指す

事例の概要

下九沢加藤原自治会は規模こそ小さいですが、一体感があり、統率力のある会長を中心にお祭りや親睦会など様々な活動に取り組んでいます。中でも防犯・防災に対する取り組みは特出しており、子ども会と合同での防災訓練や、毎月2回程行われる夜間の防犯パトロールは非常に質の高いものです。

特徴・ポイント

下九沢加藤原自治会では、平成16年当時、自治会地域内で「タイヤのパンク被害」「ひったくりの被害」「注射針のゴミ集積所への投棄」「事務所あらし」など、住民を不安にさせるようなことが起こっていました。そこで、まずは自治会役員による夜間のパトロールを開始し、さらには20数名からなる「加藤原自治会防犯パトロール隊」を結成して防犯パトロール活動に努めてきました。その功労が認められ、平成20年には相模原北警察署推薦にて神奈川県防犯協会及び神奈川県警察本部長より感謝状を授与されました。

この下九沢加藤原自治会には、「下九沢加藤原自治会自主防災隊組織要項」や「下九沢加藤原自治会防犯パトロール隊規約」などがあり、組織のあり方や管理体制が徹底されています。防災隊組織要項では、火災や災害が起こった際の隊長・副隊長・各班の役割などが細かく定められており、万が一の時には万全な体制が整っています。また、パトロール隊には規約とは別に遵守事項があり、どのようにパトロールを進めていくか、不審者を見つけたときはどうするかなど、10項目程定められています。

課題・展望

下九沢加藤原自治会地域には10数件の企業があり、それらの企業は「準会員」として自治会のメンバーにはなっていないですが、地域の人との交流はあまりないのが現状です。今後は、その準会員の方々とも協力し合って防犯・防災活動をさらなるものにしていくのが目標です。



防犯モデル地区プレート

体験・取材した職員から一言！！



下九沢加藤原自治会地域は、コンビニ、郵便局、病院、特別養護老人ホームなどがあり、地域外から人が集まる地域です。それゆえ、このような防犯パトロール活動がいかに大事であるかということを考えさせられました。
(情報システム課 齊藤)



パトロールには会長のお孫さんも参加しており、パトロールのメンバーの方々とも触れ合っている姿を見て、この自治会の一体感をあらためて感じさせられました。(予防課 中村)



和気藹々とパトロールをしつつも、細かいチェックを欠かさず行っており、感謝状を授与される程のパトロール隊の意識の高さを実感しました。
(下水道管理課 長澤)

これらの防犯・防災活動は要項や規約にも定められていますが、強制的ではなく、すべて自主的に集まった者のみによって行われています。

それにも関わらず数多くの参加者が集い、地域のために汗を流しています。この防犯・防災への意識の高さがこの地域の安全を守っており、規約・第2条にある、「安心して住める



隅々まで歩きます

団体の基礎DATA



団体名◇下九沢加藤原自治会
発 足◇平成13年
世帯数◇61世帯
会長名◇延 昭徳さん

